

辰野町新町発足70周年記念

高橋浩規展

「あの花咲く、とある山旅へ。」

高橋浩規（1971～長野県生まれ）は、東京藝術大学デザイン科で中島千波に師事し、日本の自然美を独自の感性で描く現代日本画家です。
彼の作品は、日本IBMやみずほフィナンシャルグループや伊藤忠商事などの企業カレンダー、雑誌『壮快』の表紙や茅乃舎の季節のかけ紙などにも採用されてきました。
本展覧会では、彼がこれまで歩んできた創作の軌跡をたどり、四季折々の花々や生き物たちから日本の雄大な山々まで、「光」にフォーカスした表現で描かれた作品を一堂に展示します。
開催される信州・辰野町は日本の地理的中心ゼロポイントであり、「日本一のホテルの里」でもあります。
そんな辰野の蛍を描いた新作にも出逢えるこの特別な機会に、高橋浩規が紡ぎ出す光と色彩の世界にぜひ触れてみてください。



- 1971 長野県生まれ
- 2000 東京藝術大学大学院修士課程デザイン 修了
《サロン・ド・ブランタン賞》
- 2003 東京藝術大学大学院博士後期課程デザイン 満期退学
- 2017 郷さくら美術館 桜花賞展（郷さくら美術館）'13《奨励賞》
「日本画で楽しむ歌のこころ」-秋色に彩る-展（郷さくら美術館）
- 2018 個展「とある山日和、花模様。」（佐藤美術館／靖山画廊）同時開催
日本画ショートトリップ-ようこそ避暑地へ-（郷さくら美術館）
- 2019 モリカラモリへ（信州高遠美術館）
ShinPA in 諏訪（北澤美術館）'15～
- 2020 ShinPA（おぶせミュージアム・中島千波館／佐藤美術館）'07/'09～
- 2022 個展（仙台三越）'18/'20（池袋西武本店）'11/'16/'20
- 2023 個展（新潟伊勢丹／東京大丸）
- 2024 個展（日本橋三越本店）'13/'19/'21
Another Story -絵がつむぐ物語-（おぶせミュージアム・中島千波館）
- 2025 日本画家が想い描く富士山展（佐藤美術館）
デザインとアートの狭間から～東京藝大デザイン科出身の作家たち～（佐藤美術館）

2025年 7月5日土～9月21日日

《休館日》 月曜日 7/22日 8/12日 9/16日（7/21日 8/11日 9/15日は開館）
《開館時間》 午前9時～午後5時（午後4時30分受付終了）
《入館料》 大人500円（20名以上の団体400円）高校生以下無料

《協力》株式会社アート・ベンチャー・オフィス ショウ／伊藤忠商事株式会社／株式会社久原本家
／日本アイ・ビー・エム株式会社／株式会社ブティック社／株式会社みずほフィナンシャルグループ
《後援》信濃毎日新聞社／中日新聞社／長野日報社／市民新聞グループ／市民タイムス／LCV
／SBC信越放送／NBS長野放送／TSBテレビ信州／abn長野朝日放送

《ギャラリートーク》
7/5日 8/3日 9/21日 14:00～

《ワークショップ》
8/2日 14:00～ 参加費300円
会場：パークセンターふれあい（辰野町樋口2396-20）



アクセス
JR辰野駅からタクシーで約7分
中央道伊北インターから車で約10分

※
美術館北側（一段下がった場所）に
広い駐車場がございます。
高齢者や体の不自由な方、荒天等は
美術館建物前に駐車いただけます。

辰野美術館
Tatsuno Museum of Art

長野県上伊那郡辰野町樋口2407-1
Tel 0266 43 0753 Fax 0266 41 4572
http://artm.town.tatsuno.nagano.jp

2025年
7月5日土～9月21日日

辰野美術館
Tatsuno Museum of Art



辰野の蛍模様
183.0×552.0cm 2025年 紙本彩色



願い星
二曲屏風 (172.0×172.0cm) 2024年 紙本彩色



天の川富士
二曲屏風 (172.0×172.0cm) 2024年 紙本彩色



こもれびの中で
四曲屏風 (150.0×300.0cm) 2021年 紙本彩色



後立山の峰々
182.5×644.7cm 2024年 紙本彩色
〈おぶせミュージアム・中島千波館蔵〉



苔生す森
182.7×641.9cm 2016年 板絵彩色
〈おぶせミュージアム・中島千波館蔵〉



鳥海山の伏流水
四曲屏風 (160.0×320.0cm) 2023年 紙本彩色